

米軍住宅 800 戸増設ノ一、「池子の森」を守るために

市民と力を合わせて **がんばれるのは前市長です**

はつきりしました



許せません！ 国の「約束破り」の追加建設
国は、池子米軍住宅「追加建設はしない」「緑地の保全」などの逗子市民との約束を破って、池子（横浜市域）に新たに800戸の住宅建設を強行しようとしています。こんな理不尽なやり方を許しては、池子の森も市民の自治も守れません。
いまこそきつぱりノ一の市民の意思を示すときです。

自ら辞職して、市民の信任をバックに

「白紙撤回」を国に迫る前市長

「追加建設しないの約束は、当時だけのことだ」——あまりにも逗子市民を馬鹿した国の態度に、前市長は厳しく抗議するとともに、自ら辞職して、改めて市民の意見を聞き、その信任を力にして国に建設撤回を迫る道を選びました。
この「建設反対」という前市長の断固た

る態度と市民の共同を広げることこそ池子の森を守る力です。
市政の諸問題への意見の違いは、わきにおいて、「追加建設ノ一、池子の緑を守ろう」の一点での前市長との共同を広げようではありませんか。

国にも衝撃を与えた前市長の抗議・辞職

前市長の身を挺した抗議は、全国に大きな反響を呼び、国にも衝撃を与えました。防衛施設庁は、来年度予算に盛り込みたいとしていた建設予算について「まだ予算に組み入れられる段階ではない」と見送り、

「逗子市のご理解も得られるようつとめる」と表明。それまで「逗子市と会う考えもない」という態度を手直し。前市長が改めて市民の信任をバックに「建設ノ一」を強く迫れば、国も米軍も無視できません。

自民党・建設容認派に推された人（女性）では

「池子の森」は守れません

「反対」言いながら、建設容認した人たちには任せられません

国では建設を推進する立場の自民党と公明党、地元では建設容認の自民党県議、三島元市長、平井元市長らに擁立された人（女性医師）では、あくまで建設に反対し、池子の森を守ることができません。

のは国の方です。国が建設計画を撤回してこそ信頼を取り戻せます。それを棚上げして、建設反対を国に迫る前市長を攻撃するのはスジ違いです。力を合せて池子の森を守ろうという市民の願いに反する態度ではないでしょうか。

「条件闘争」の名で受け入れ

これまでの逗子の歴史で当初口では「反対」と言いながら、結局は建設受け入れに走った人たちに任せることはできません。

約束やぶった国を「信頼」

建設反対の前市長を攻撃

この人（女性医師）は、「国との信頼」と言いますが、信頼を破った

この人（女性医師）は、国との交渉で「条件闘争も辞さない」（神奈川県新聞）と公言しています。しかし、これまでも「条件闘争」とは、米軍住宅受け入れにつながってききました。前市長は「条件闘争はしない。白紙撤回以外、条件闘争のしようがないし、する気もない」ときつぱり断言しています。

「追加建設ノ一」の審判をきつぱり下しましように

池子の森ニュース

市民団体連絡会機関紙

発行：米軍住宅建設反対・市民要求の実現をめざす逗子市民団体連絡会

No. 0306 2003年9月発行

1984年10月に新日本婦人の会、老後を考える会、民主商工会、民主青年同盟、日本共産党など9団体と市民有志で結成。

「逗子市民団体連絡会」は、見解を発表しました。
住所：沼間2-15-4 電話(873)4798



池子の森は
市民の宝

だれもが大切にしたいとお考えではないでしょうか

この市民の意思を示すときです

「池子の森」は一つです

横浜地域であろうと巨大な米軍住宅建設は、池子の森全体と逗子の環境、まちづくりに重大な影響を与えます。だからこそ国は環境アセス調査も池子全体(約290ヘクタール)を対象に行い、「追加建設はしない」「緑地は保全する」との約束をしてきたのです。



追加建設(横浜)を許せば

逗子市と「池子の森」全体に大きな影響が

緑を削る大開発で、人口約七千人の異常な米軍住宅都市――

いまどき、30ヘクタールを越える貴重な緑地を削って800戸もの大規模宅造をすることは民間では許されません。それを米軍のために国は強行しようというのです。逗子側と合せて、1654戸、人口7000人規模の米軍家族だけの異常な団地が出現します。

池子の貴重な照葉樹林が削られ、フクロウやオオタカなどの生態系の破壊、内部の道路使用による大気汚染などの環境破壊は避けられません。さらに自動車利用の激増による交通渋滞、犯罪や治安問題などの心配も軽視できません。

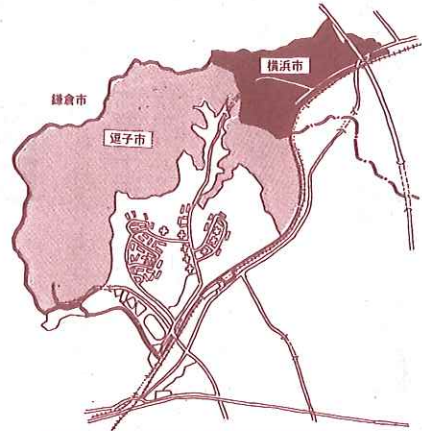
池子の返還と国営公園は困難に

また後背地(残余地)の返還は、困難になり、長年求めてきた「国営自然公園設置」も池子の緑地が分断されるため不可能になってしまいました。平和で緑豊かな逗子のまちづくりのために、どうしても新たな米軍住宅建設はやめさせましょう。

「米軍小学校建設反対」前市長

容認派に推された人は、「米軍小学校を容認した前市長」と攻撃していますが、事実とちがいます。この8月臨時市会でも前市長は「(同小学校に)反対せざるを得ない」とはっきり表明しています。

池子米軍基地全体図



総面積	約 288ha
逗子市域分	約 252ha
横浜市域分	約 36ha

平和の願いに反する米軍住宅建設

原子力空母の母港化につながらる

米軍住宅の建設は、家族住宅とはいえ危険な軍事基地の強化です。とくに2008年に予定されている原子力空母の横須賀母港化の受け皿ともなります。日本を米軍の出撃拠点にする基地の強化、恒久化です。いまイラク戦争などアメリカの先制攻撃戦略にたいして、国連憲章の平和ルールを守れという世論が世界に大きく広がっています。この流れに逆行する米軍住宅建設を市民の声でやめさせようではありませんか。



農・密認派に推された人(女性医師)ひなぐ

「建設ノー」つらぬく前市長とともに

「池子の森」を守りましょう